

広 報 事 業

多くの市民が博物館へ来館し、また、博物館が企画しているイベント（特別展、普及行事）に参加いただけるよう、様々な媒体・手段を通して広報活動を行っている。平成26年度の取り組みとしては、プレス発表の件数増加のため、特別展やフェス以外にも館の事業を積極的にリリースした。またリリース先の拡大として、大阪市情報公開室経由のリリース件数を増やした。

<体制>

定例では月1回、必要に応じて臨時に、学芸課（5名）と総務課（3名）の広報担当が集まり、広報計画の立案・検討と実施に取り組んでいる。特別展の広報に関しては、特別展担当者も出席している。学芸課のメンバーの1名は普及活動全体を把握している学芸課の普及担当が毎年交代で参加している。

<広報の種類（項目、媒体）>

定期的な博物館行事情報提供	マスコミ向け行事情報の作成、市民向け催し物案内の作成、大阪市関係広報紙・各種情報誌への情報提供、館内でのポスター掲示を行っている。
ホームページへの情報掲載	博物館および大阪市、様々なメディアのホームページに情報を掲載している。SNS（twitter、facebook、2014年度からはLINEも追加）、プロガー内覧会などを用いた情報発信に力を入れており、今後も強化していく予定である。
プレス発表	大阪市の情報公開室を通して市政記者クラブと大阪科学・大学記者クラブへ、その他大阪教育記者クラブ、南大阪記者クラブ、関西レジャー記者クラブへも特別展や自然史フェスなど博物館の事業開催を発表している。
写真・テレビ撮影への対応	様々なメディアの取材窓口となり、取材に対応している。
交通広告	特別展では大阪市営地下鉄に吊り広告を掲出している。また大阪市営地下鉄の駅構内にポスターの掲出、チラシ類の配置を行っている。新聞社と共催の特別展の場合には、広報予算が多くなるので、大規模に交通広告を行っている。
掲示物	博物館内：今月のイベント案内を本館と花と緑と自然の情報センターの受付カウンターに掲示している。特別展開催時には、情報センターの階段に大型看板を掲出し、特別展・本館への誘導を行っている。

	公園内：博物館周辺にイベントの案内などを掲出している。掲示箇所：地下鉄長居駅出口、公園内の掲示板、花と緑と自然の情報センター出入り口の看板、長居公園地下駐車場。また、特別展の際にはのぼりを80本製作し、長居公園や周辺商店街に掲出し、長居公園を訪れる人への広報と地下鉄出口から博物館までの誘導案内になっている。
	情報センター西門・南門・入口：表示が無く、これらの入口から自然史博物館へ入館できることが市民にわかりにくいため、特別展の会期以外はスチール看板を利用して、自然史博物館の表示と申し込み不要のイベントを掲示することにした。
	最寄り駅：特別展の際には、地下鉄長居駅の他にJR長居駅、JR鶴ヶ丘駅の改札口付近に、B1ポスターを掲出している。
他施設の情報の提供	博物館には大阪市内をはじめ全国の博物館施設からポスター・チラシが送付されてくる。それらのうち、当館来館者の関心が高いと予想されるものについては、館内で掲示・配布している
大阪市経済戦略局文化部での広報	文化部の博物館施設担当へは、すべての情報を提供し、月ごとに他館との調整が行われ、文化部から市の広報媒体の紹介を受け、テレビ、ラジオ、出版物、ホームページなどへ情報提供を行っている。大阪市動画サイト、携帯サイト、いちょう並木、毎日新聞「満載イベント」編など
大阪市博物館協会内での共同広報	指定管理者である大阪市博物館協会と管理委託されている大阪歴史博物館・大阪城天守閣・大阪市立美術館・大阪市立東洋陶磁美術館・大阪市文化財研究所・大阪市立自然史博物館の6施設で共同広報を行っている。

<広報先>

メディア関係	これまでコンタクトのあった各社のアドレスを蓄積し、イベントの内容に応じて広報している。
--------	---

学校・社会教育施設	チラシ類は、大阪市内・府下を中心に、社会教育施設、学校・幼稚園・保育園へ発送している。市立の学校には通送便を活用している。特別展等、広範囲に広報する場合は、日帰り圏内まで送付範囲を拡大する。
地元小学校への広報	イベントの種類および規模に合わせて、地元小学校の全生徒にチラシの配布を行っている。
大阪府内の高校への広報	大阪府高校生物教育研究会と大阪府高校生物地学教育研究会の協力により、大阪府内のすべての高校へ特別展やイベントの案内を送付している。
地元への広報	連合町会長会議を通じて、地元町内会へ特別展のチラシの掲出依頼、内覧会招待の案内を行っている。また、地元の商店街へは、ポスター等の掲示依頼などを行っている。

<2014年度の広報状況>

印刷物の発送先（学校以外）	件数：大阪市内176件、大阪府内193件、その他の府県379件。施設種類：博物館、大学、図書館、青少年施設、教育委員会、市役所、集会学習施設など
チラシ類の印刷・配布枚数	やさしいはくぶつかん春・秋（40,000枚）、ワークショップ4回（120,000枚）、地球科学講演会（35,000枚）、特別展「ネコと見つける都市の自然」（ポスターB2 1,500枚、B3 6,000枚、チラシ 60,000枚）、大阪自然史フェスティバル（ポスターB2 1,370枚、チラシ 65,000枚）、ホネホネサミット2014（チラシ 25,000枚）毎月の催し物案内（1,700枚）
情報提供しているメディア関係	約200社（特別展関係約100社、行事情報約100社）
特別展プレス発表の送信先	市政記者クラブ22社、大阪科学・大学記者クラブ17社、大阪教育記者クラブ14社、南大阪記者クラブ7社、関西レジャー記者クラブ14社、大阪市内区役所広報24区

テレビ放送（特別展以外）	7/8 ちちんぷいぷい「リアル気温くん」セミ 7/8 NHK「サイエンスZERO」夏休みスペシャル 恐竜の細胞が見える！？ 化石研究新時代 8/17 TBS「サンデーモーニング」クマゼミ 8/26 朝日放送ニュース ステゴサウルスに骨髄炎 9/3 読売テレビ「すまたん！ZIP！」カエントケ 9/27 テレビ朝日「スーパーJチャンネル」セアカゴケグモ 12/8 NHK「ニューステラス関西」淀川を脅かすヌートリアなど、19件
新聞報道（特別展以外）	6/27 朝日新聞朝刊「ヒラズゲンセイ」 7/26 産経新聞「大阪の都市化とセミについて」 9/13 大阪日日新聞「9/6 セミのぬけがら調べ」 9/11 朝日新聞朝刊「ステゴサウルスに骨髄炎」 10/16 神戸新聞朝刊「アサギマダラ」 10/13 朝日新聞「ホネホネサミット2014」 2/10 毎日新聞朝刊「デスモスチル」など、17件

<特別展の広報>

■大阪市立自然史博物館・長居植物園 40周年記念企画

特別展「恐竜戦国時代の覇者！トリケラトプス」

～知られざる大陸ララミディアでの攻防～
会 期：平成26年3月21日（金・祝）～5月25日（日）※3月24・31日（月）は臨時開館（詳細は前年度の館報に掲載）

■第45回特別展「ネコと見つける都市の自然 一家の中から公園さんぽー」

会 期：2014年7月19日（土）～10月13日（月・祝）

プ レ ス 発 表：2014年5月9日（金）

内 覧 会：2014年7月18日（金）

プ レ ス 内 覧 会：3社4名（産経新聞、タイガー魔法瓶、JOBBB）

広 報 事 業

一 般 内 覧 会：119名（大阪市関係、地元町内会関係者、友の会会員、招待者など）

広 報 媒 体：57の広報媒体で扱われた。そのうち放送関係は、テレビ1、ラジオ3。

ブロガー内覧会：4件

■特別展「スペイン 奇跡の恐竜たち」

会 期：2015年3月21日（土・祝）～5月31日（日）※3月24・31日（月）は臨時開館

プ レ ス 発 表：2014年12月26日（金）、2015年2月6日（金）

内 覧 会：2015年3月20日（金）

プ レ ス 内 覧 会：12社16名（読売新聞、報知新聞、奈良新聞、ラジオ関西、読売ライフなど）

一 般 内 覧 会：約300名（地元町内会関係者、友の会会員、招待者）

ブロガー内覧会：12件



図5. 「スペイン 奇跡の恐竜たち」内覧会テープカット